

Q5 堤防強化にはどのような対策があるのか？

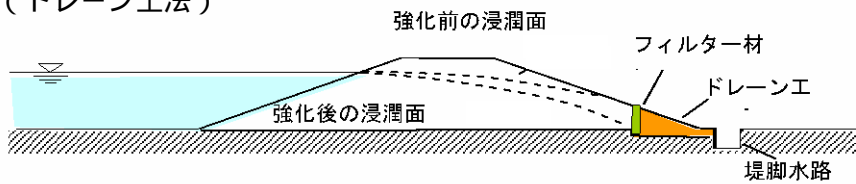
A5 堤防強化には大きく分けて次の3つの対策があります。

(1) 浸透対策

- ・考え方：堤体内に浸透した水及び表面水を速やかに排除します。
表のり面や高水敷に難透水性材料を設置し、浸透水量や水圧を低減させます。

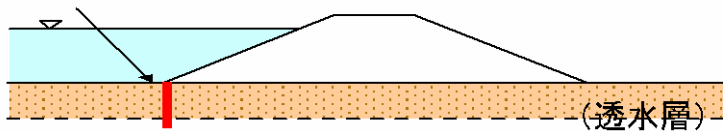
- ・対策の例

(ドレーン工法)



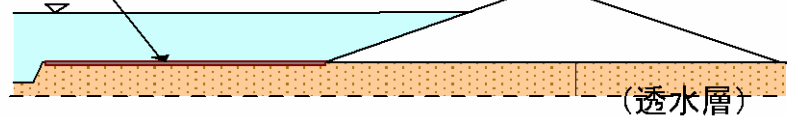
(遮水工法)

遮水壁（鋼矢板、地中連続壁等）



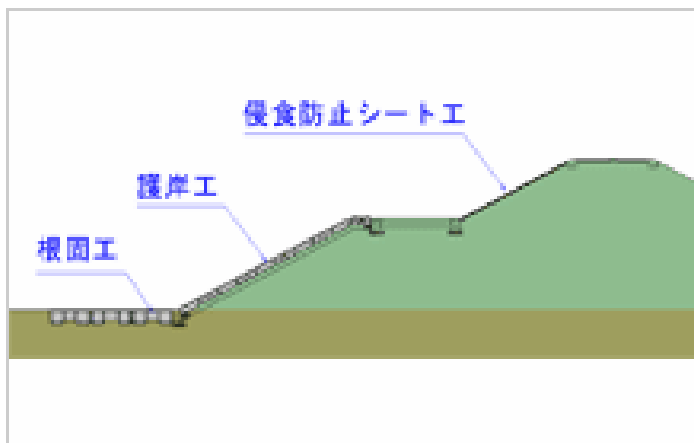
(ブランケット工法)

ブランケット（土、アスファルト等）



(2) 侵食対策

- ・考え方：堤体表のり面の侵食耐力を強化し、侵食外力を軽減します。
- ・対策の例

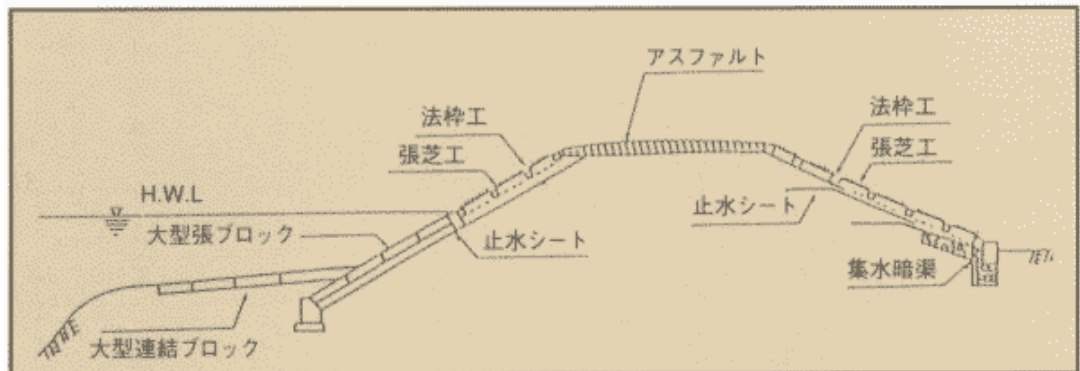


(3) 越水対策

アーマーレビー工法

- ・考え方：想定を超える外力（越水等）に対して堤防全面を被覆し、浸透、越水から堤防を守ります。（本工法については、加古川など試験的に施工されているところがありますが、被覆するために堤防内部の土砂流出の有無が確認できない等の課題があり、まだ研究段階であり技術が確立されていません。）
- ・対策の例

◆アーマーレビーの構造の例



(社) 日本河川協会；「河川」No.536 より

高規格堤防（スーパー堤防）

- ・考え方：想定を超える外力（越水等）にも破堤しないように、堤防の堤内地側（まち側）に盛土を行い、堤防の高さの約30倍の幅がある緩やかな傾斜の堤防をつくります。
- ・対策の例

